

福井放送

活動名	FBC 読み聞かせ
実施期間	令和 7 年 9 月～ 12 月
実施回数	会場 6 回

【事業実施の成果・課題】

子どもたちに絵本を読み聞かせ、想像力や思考力、そして、道徳心を育むことができる活動は、各アナウンサーのやりがいにもつながっています。また、読み聞かせ活動に加えて、アナウンサーが自らの仕事について話したり、子どもたちに原稿読みをしてもらったりと、キャリア教育としても非常に大きな意義を持ちます。

各学校からも、「子どもたちにスポーツ実況を聞かせてほしい」や「早口言葉をやってほしい」など、様々な要望も頂き、子どもたちの成長に微力ながらも貢献させて頂きました。これからも子どもたちの豊かな未来のために取り組んでまいります。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

<酒井拓海アナウンサー>

・「ウクライナかな？」「今はもっと値段高いよ！」という声が飛び交った教室。率直に小学4年のみなさんの普段の学習意欲の高さに驚いた。

<手賀梨々子アナウンサー>

・1冊目の後では、児童たちは感想として好きなキャラクターをあげていたが、2冊目の後は「100万回泣けるってすごい」「最後に泣いてから死ぬまでは何度も生き返ったのがふしぎ」と、この絵本のポイントの部分にも気づいていてすごいと思った。

<田中悠登アナウンサー>

・読み聞かせは単なる「聞く時間」ではなく、自分や他者を見つめる機会でもあると改めて感じた。45分という短い時間ではあったが、笑顔と気づきの両方が生まれる充実した活動であった。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

- ・本を読むときに、声を変えて、役になり切って喋っているのがすごいと思った。（3年男子児童）
- ・早口言葉で囁まずに言えているアナウンサーを見て、憧れた。（4年女子児童）
- ・普段学校に居ないアナウンサーが講師として来ることで、子どもたちも絵本の内容により興味を持って入り込んでいる印象だった。（3年教諭）

